



CAMPUS GUIDE

Graduate School of Nursing Art and Science, University of Hyogo

兵庫県立大学大学院看護学研究科
キャンパスガイド



●研究科長メッセージ

少子高齢化などの社会構造の変化や様々な技術革新は人々の生活や健康に影響し、地球環境破壊や巨大災害などによる衝撃も計り知れず、私たちはかつてない健康課題に直面しています。

この課題に対応するには、優れた専門的知識と高度な技術をもって人と社会の健康を支援でき、ケアモデルの創造や社会の改革に参画できる看護の実践者・研究者の育成が不可欠です。

博士前期課程には、研究、高度実践看護、実践リーダーの3つのコースがあります。高度実践看護コースでは、毎年8名前後が専門看護師として認定されています。実践リーダーコースでは、2021年度から新たに看護情報学が加わり、看護実践に伴うさまざまなデータを活用し、保健・医療・福祉分野における情報システムを構築・発展させていく人材を育成します。2021年度からデータヘルス副プログラムを提供していますが、多様な健診等の医療ビッグデータの分析方法を理解し、健康改善計画や政策立案ができる基礎的な能力を高め、社会の改革に参画できる人材の育成にも力を入れています。



博士後期課程は看護学共通科目の充実、博士論文作成支援科目の提供により、自立し学識ある研究者を育成します。博士論文作成支援科目では、研究計画の初期の段階から看護学研究科に所属する教員等によるピアレビューを受け、計画書作成を推進していきます。看護学研究科に所属する教員が学生の皆さんの研究の進捗を見守り支援しています。

共同災害看護学専攻(DNGL)は、2021年度よりこれまでの教育を継承した博士前期・後期一貫コースである災害看護グローバルリーダーコースに替わりました。博士前期課程修了後引き続き、博士後期課程において学修を継続することができます。DNGL 構成5大学で締結した「5大学災害看護コンソーシアムに関する協定」に基づくコンソーシアム科目は、災害看護グローバルリーダーコースの学生だけでなく、看護学研究科の学生であれば誰でも履修が可能です。DNGL で築いた5大学連携による災害看護教育を他の専門領域の学生にも拡げています。



看護学研究科長 森 菊子

人間の尊厳を基盤とし、保健・医療・福祉環境の変化に斬新的、創造的かつ先駆的に対応できる人材を育成し、実践と研究を通じて看護学の発展に寄与することを目的としています。

●入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本研究科は、教育理念に基づき、各専攻の特性に沿って以下のような人を求めます。

<看護学専攻>

博士前期課程（修士課程）

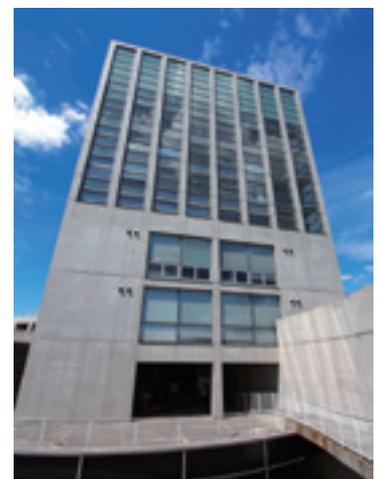
- (1) 看護学の基礎的な能力を有する人
- (2) 倫理的感受性をもって保健・医療・福祉の状況を捉え、柔軟に行動できる人
- (3) 論理的思考をもって看護学の知識を自ら学んでいくことができる人
- (4) 国内外において、看護学や看護実践の発展に寄与する意欲のある人

博士後期課程（博士課程）

- (1) 広い視野で看護の課題を探究していこうという姿勢がある人
- (2) 積極的、創造的に対応し、看護学の発展に寄与する意欲のある人

博士前期・後期課程〈災害看護グローバルリーダーコース〉

- (1) 災害看護グローバルリーダーとしてのビジョンを持っている人
- (2) 災害看護グローバルリーダーとしての活動にコミットメントでき、その能力を伸ばしていくことができる人
- (3) 英語で基本的なコミュニケーションがとれる人



●各課程における専門領域と設置コース

看護学研究科は、博士前期課程（看護学修士）、博士後期課程（看護学博士）があります。博士前期課程には、高度実践看護（CNS）コース、研究コース、実践リーダーコースの3コースがあります。副プログラムとして、〈データヘルス副プログラム〉もあります。博士後期課程は、研究コースです。また、博士前期・後期課程の5年一貫で学ぶ災害看護グローバルリーダーコースがあります。

博士後期課程

研究コース

治療看護

母性看護

在宅看護

看護病態機能

小児看護

組織看護

環境看護

成人看護

地域看護

生活機能看護

老人看護

国際看護

看護情報

精神看護

災害看護

高度な実践能力をもって現場の
変革に繋がる方略を導き出す

高度実践看護コース

がん看護

母性看護

成人看護

小児看護

老人看護

精神看護

在宅看護

クリティカルケア看護

2022年度申請
2023年4月開講予定

博士前期課程

実践に根差した研究課題を探索し
看護学の体系化と発展を目指す

研究コース

看護生体機能

がん看護

精神看護

成人看護

在宅看護

生活機能看護

老人看護

組織看護

環境看護

母性看護

地域看護

看護教育

小児看護

国際看護

クリティカルケア看護

(2023年4月開講)

地域・教育・産業・医療の場における
ヒューマンケアを改革する

実践リーダーコース

組織看護

学校保健

地域看護

看護情報

博士前期・後期課程（5年一貫）

災害看護グローバルリーダーコース

災害看護

〈データヘルス副プログラム〉

健診等の医療ビッグデータの分析方法を理解し、健康改善計画や政策立案を行うための基礎的な力を養います。「データヘルス」の他、「看護と保健政策」「ヘルスケア組織論」など合計7単位以上履修することで、データヘルス・アソシエートの称号が得られます。

●博士前期課程における専門領域と設置コース

専門領域	研究コース	高度実践看護コース ※1	実践リーダーコース ※2	災害看護グローバルリーダーコース
看護生体機能学	○			
生活機能看護学	○			
環境看護学	○			
看護教育学	○			
がん看護学	○	○		
成人看護学	○	○		
老人看護学	○	○		
母性看護学	○	○		
小児看護学	○ ※3	○ ※3		
精神看護学	○	○		
在宅看護学	○	○		
クリティカルケア看護学	○ ※4	○ ※5		
国際看護学	○			
組織看護学	○		○	
地域看護学	○ ※6		○	
学校保健学			○ ※6	
看護情報学			○	
災害看護学				○ ※7

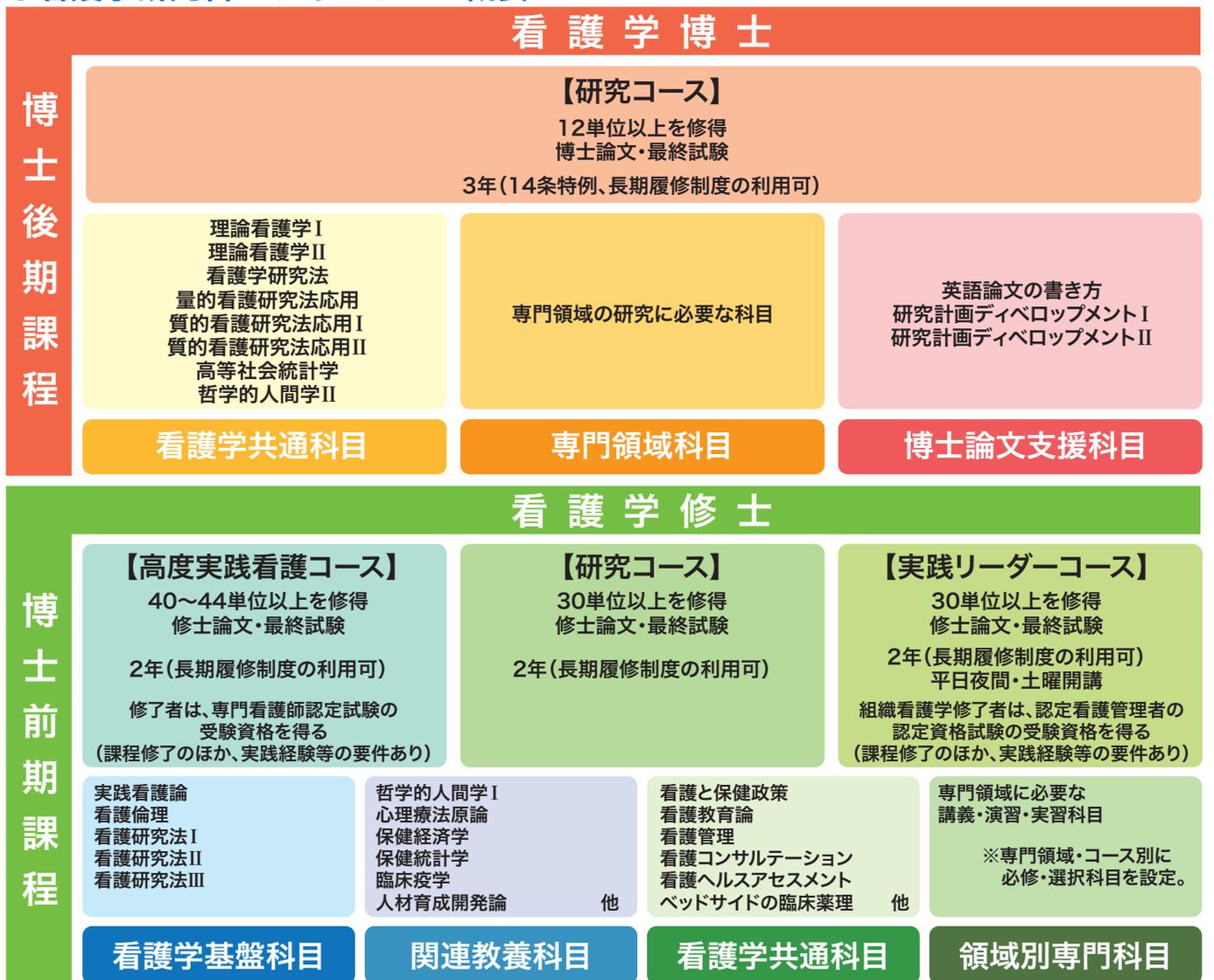
※1) 高度実践看護コースは日本看護系大学協議会において高度実践看護師教育課程として認定を受けています。

※2) 実践リーダーコースは昼夜開講制です。 ※3) 養護教諭専修免許状を取得することが可能なコースです。

※4) 2023年4月開講 ※5) 2022年度申請、2023年4月開講予定

※6) 養護教諭専修免許状を取得することが可能なコースです。 ※7) 災害看護グローバルリーダーコースは、博士前期・後期5年一貫コースです。

●看護学研究科カリキュラムの概要



コースの紹介

博士前期課程の高度実践看護コースは、がん看護、母性看護、小児看護、精神看護、成人看護、老人看護、在宅看護の7領域が38単位の専門看護師（CNS）教育課程の認定を受けて開講しており、2023年度には新たにクリティカルケア看護学領域が開講予定となっています。身体機能と疾患や症状の専門的見識だけでなく、病者体験や人の成長発達過程を基軸に人々が抱え持つ健康問題の特徴を多面的に理解し、それぞれの学問領域の専門性に裏付けられた看護を展開する実践力を養っていきます。

カリキュラムは、各領域に求められる専門性に準じて、講義・演習・実習が循環的に組まれています。特に、実習では、臨床現場における実際のトレーニングと実践内容に対し、専門看護師や担当教員から個別のスーパーバイズが提供され、卓越した看護実践能力を育む環境を整えています。

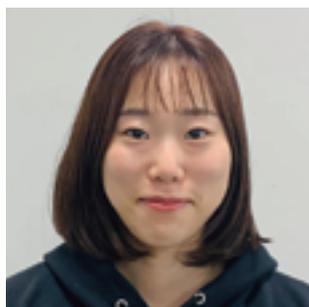
進学にあたり、退職される場合、休職される場合があります。CNSコースはカリキュラムが過密であり、アルバイトをする余裕はありませんので、奨学金を利用されたりしています。また、厚生労働省の教育訓練給付制度により、修了した際、教育訓練費の一部がハローワークから支給されます。就職率は100%です。病院、訪問看護ステーションに就職し、CNSとしての第一歩を踏み出され、活躍されています。



在学生メッセージ

がん看護学領域 2022年度入学
看護学研究科博士前期課程高度実践看護コース

永島 志



本学看護学部に入學、そのときのがん看護に興味を持ち、卒業後はがん専門病院で5年間勤務しました。在学中に看護学を追求する楽しさを知り、また本学の看護観が看護ケアを提供する中で大いに生きていることを実感しました。そして臨床では、患者・家族がより良い選択をするための支援への力不足を感じたこと、がんゲノム医療の進展による治療の多様化や、個人や家族の在り方が多様化する中で、幅広い視点で本質を捉えた看護ケアを展開できるようになりたいと思ったことがきっかけとなり、本学で看護学への学びを深めたいと思い高度実践看護コースへ進学しました。先生方の熱意や、深い知見に触れ、また看護の他領域を専門とする院生とディスカッションできる環境の中で、日々刺激を受け、学びを深めています。ぜひ一緒に学びましょう！

修了生メッセージ

老人看護学 高度実践看護コース 2020年度修了
2021年度 老人看護専門看護師認定
徳島赤十字病院 脳外科・救急科・皮膚科・形成外科混合病棟

前田 春香



平均寿命の更新や医療の進歩により高齢者が抱える健康上の問題は複雑化し、私は急性期病院で働く中で何を大切に看護しているのか悩むことも増え、自分なりの答えを見つけるために進学しました。大学院で学ぶことで、これまで自分が行ってきた看護を見直すことができ、さらに、高齢者の健やかな側面に注目する、という視点をすることで、高齢者の生活を考える際の視野が広がりました。そして、同じ分野で活躍される先輩方や、違う分野で学ぶ同期との繋がりを得ることができました。現在は元の職場に復職し、高齢者の看護に携わっています。悩むこともたくさんありますが、解決策を導くための方法を学んだことや相談できる大切な人脈を得たことで、高齢者にとってよりよい看護について考えることができ、大学院で学んだことは自分にとって貴重な財産となっています。

コースの紹介

博士前期課程の研究コースは、15領域が開講しています。各領域において、専門性に基づく高度で幅広い知識と深い対象理解、現象理解を背景に、健康問題および看護ケア方法について探索的に取り組む能力を修得します。

カリキュラムは、看護学基盤科目の実践看護論および看護研究法Ⅰに加え、看護研究法ⅡとⅢについても専門領域によっては必修としています。関連教養科目、看護学共通科目、領域別専門科目の中から学生の研究テーマなどの必要性に応じて履修し、合計 30 単位以上を修得します。特に、専門領域別に配置されている看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは、体系的な文献検索やフィールドワークを通して、研究課題の明確化、研究方法の検討など研究計画書を作成するプロセスを学び、修士論文作成に向けて、研究計画に基づいた研究の実施と学術論文としての記述方法を学びます。修士論文作成のプロセスにおいて、担当教員から個別のスーパーバイズが提供され、研究能力を育む環境を整えています。

修了後は、看護系大学等の教育機関において研究者としての第一歩を踏み出したり、医療機関等に就職し、教育担当や臨床研究指導を行うなど、研究能力を活かしつつ様々な場で活躍されています。また、博士後期課程へ進学する学生もいます。



在学生メッセージ

組織看護学領域 2022年度入学

田尻 朝子



私は入学前には看護師長として病棟管理に携わってきました。その中で、看護師の働く環境や、看護師のモチベーションへの働きかけなどに関心をもって実践してきました。しかし、自分の管理実践を評価できずにもやもやとするものを感じていました。そこで看護管理者としての視野を広げたいと考え、本校へ進学を決めました。基礎科目や共通科目では高度実践看護コースの履修生と課題やディスカッションに取り組みます。それぞれの専門分野の強みを生かし、検討内容がより深まります。専門科目では経営・経済学的視点や情報学なども同時に学び、看護管理を「多角的に捉える」ことにつながっています。またここで知り合えた仲間とは領域は異なりますが、今後の医療や看護を作り発展させていけるよう共に歩んでいきたいと思います。

修了生メッセージ

環境設計看護学(研究コース) 2019年度修了
兵庫県立総合衛生学院 助産学科

谷畑 玲子



私は、助産師として病棟勤務をした後、看護専門学校専任教員として看護基礎教育に携わってきました。教員をする中で、自信をもって送り出した卒業生が途中で看護師を辞めていく現実と直面し、個々の能力を育むだけでなく、人を育てる組織や学びを生み出す環境に興味を持ち、大学院の環境設計看護学(研究コース)へ進学しました。修了した後は再び専門学校へ戻り、教育現場と臨床現場をつなぐために何かできないか、多角的な視点から看護の学び方を工夫できないかなどと考えながら日々奮闘しています。まだまだ未熟ではありますが、大学院で磨いた研究力や現象を多角的に捉える力、組織における発信力は、現場でも活かされ、大学院での学びは大変貴重なものだったと実感しています。また、同期生とは今でも相談や情報交換をし、ときおり看護を語り合える大切な財産です。

コースの紹介

地域・学校・産業・医療機関を含む様々な場におけるヒューマンケアの実践に関する課題の解決に取り組み、人々の健康生活の実現に向けたケアおよびシステムのイノベーションにリーダーシップを発揮できる力の修得を目指すコースです。組織看護学及び地域看護学領域では、現場の「組織的変革を要する課題」への取り組み（プロジェクトの実践）を通し、人々の健康生活を支える新たなケアサービスの仕組みを創造・発展させることができる能力の獲得を目指します。修士論文は、研究的思考過程を踏みながら、プロジェクトの実践・評価を論文にまとめます。学校保健学専門領域では、養護教諭など、児童生徒や教職員の健康の保持増進に携わる方の学びと研究を支援します。修士論文は、スクールヘルスプロモーションに向けた、実践と密接した研究課題を設定して論文にまとめます。看護情報学は看護専門職として、看護情報の活用から効果的・効率的な看護の提供を目指します。修士論文では看護情報に関連する課題を設定し、論文としてまとめます。働きながら修学することを可能とするため、昼夜開講制（土曜日、平日夜間、集中開講）としています。また、2年間の学費で3年以上の在籍が認められる長期履修制度も導入しています。修了生は、それぞれが所属する職場（病院・保健所・事業所・学校等）でパワーアップして活躍しています。なお組織看護学領域の修了後は、日本看護協会認定看護管理者の認定審査を受けることができます（詳細は日本看護協会ホームページをご覧ください）。



在学生メッセージ

学校保健 2021年度入学
小学校 養護教諭（在職中）

小林 加奈



私は、兵庫県立大学看護学部 4 年次に、実践リーダーコースの学校保健学領域を受験しました。現在は、平日に小学校で養護教諭として働き、土曜日に大学院の学生として明石看護キャンパスに通っています。

普段は、小学校の中で主に 1 人職である養護教諭として働いており、迷うことや悩むことが多くありますが、本コースで学ぶことで他者の考えに触れる機会を得て視野が広がり、養護教諭としての自分の考えが少しずつ確立されてきていることを実感しています。

仕事との両立は、簡単なことではありませんが、様々なところで活躍している仲間たちの刺激を受けながら、充実した日々を過ごしています。

修了生メッセージ

組織看護学領域 2020年度修了
国立循環器病研究センター

増田 貴生



私はこれまで病棟の教育や後輩指導を行う機会も多く、病棟の中心的な役割を担う看護師が組織を離れていくという状況に何度も遭遇してきました。最初は「なんでこんなに楽しいのに辞めていくのだろう」と疑問に感じるだけでしたが、副看護師長に昇任してからは、「中堅看護師が生き生き働く」ために何かできないかと思うようになり、大学院への進学を決めました。大学院では他領域で働く同期と学ぶ中で、「無知」である自分に気づき、論理的に考えることの重要性を学びました。「働きながら学ぶ」ことができる次世代看護リーダーコース（2021 年度より実践リーダーコースに名称変更）では、学習の時間を確保するという点では苦勞しましたが、それ以上に臨床で直面した課題を解決するためのヒントを大学院の授業で得て、さらに臨床で活かすことができるという貴重な経験ができました。

コースの紹介

博士後期課程は、15の専門領域を置き、高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養い、日本国内外の看護学の分野において、広い視野のもとに自立して看護学を研究できる人材、特に創造豊かに研究能力を発揮できる人材の育成を目指しています。

博士後期課程のカリキュラムの特徴は、看護学の研究者の基礎をより確かにするため、理論看護学および看護学研究法、量的看護学研究法応用、質的看護学研究法応用、英語論文の書き方などを配しコースワークを充実させています。また、博士論文支援科目の研究計画ディベロップメントでは、博士論文となり得る研究を着実なプロセスで進めるために、学生各自がどのような研究を実施しようとしているのかを、看護学研究科の教員と博士後期課程の学生たちの前で発表し、参加者より研究に対する助言や示唆を、多角的に幅広く得ることができます。

また、個人のライフスタイルに応じて、働きながら学ぶ14条特例による履修や長期履修の制度があります。修了生の多くは、大学等の教育機関で教育研究者として看護学の発展に寄与しています。



在学生メッセージ

生活機能看護学 2021年度入学

大門 裕子



臨床である現象を目の当たりにしました。入学前までは、その現象の一部しか捉えられず、行き詰まりを感じていました。一度は研究から離れましたが、その現象を追究したいと思い博士後期課程に入学しました。

博士後期課程では、看護学に関連する科学や学問の背景・概念分析の手法を学びます。概念探求では、現象を記述し、名前をつけ、概念を明確化する過程において言語化する力を養います。また、研究計画ディベロップメントでは、研究疑問・デザイン・方法など研究計画について、研究科教員・学生から建設的な意見がいただけ多面的に検討する機会になります。

この環境に身をおき、いま漸進していると感じています。さらに、同じ目標をもつ仲間に出会えたことが原動力になっています。刺激し合い、励まし合い、実りある時間を過ごしています。一緒に学び合みましょう。心待ちにしております。

修了生メッセージ

成人看護領域 2020年度修了
兵庫県立大学看護学部 成人看護学

片岡 千明



私は、兵庫県立大学の教員として働きながら、博士後期課程を修了しました。教員になる前は、慢性疾患看護専門看護師として糖尿病看護の実践を行っていました。実践をすると患者の反応が得られよりよい看護を考えることができますが、看護を現場で根付かせるためにも客観的にケアの効果を示すことも大切と感じていました。そこで博士課程では糖尿病患者が自分の身体を理解することを促すケアの評価研究に取り組みました。研究テーマが決まっても、ケア枠組みを明確化し、評価指標を決定していく過程で悩むことも多くありましたが、研究活動を通して今まで気づいていなかったケアの要素や効果を発見することができ、研究に取り組んでよかったと感じています。今後は、研究結果をもとに臨床の看護師の方と実践し、実践と研究を循環させていきたいです。

災害看護学領域の新たなコースとして再始動！

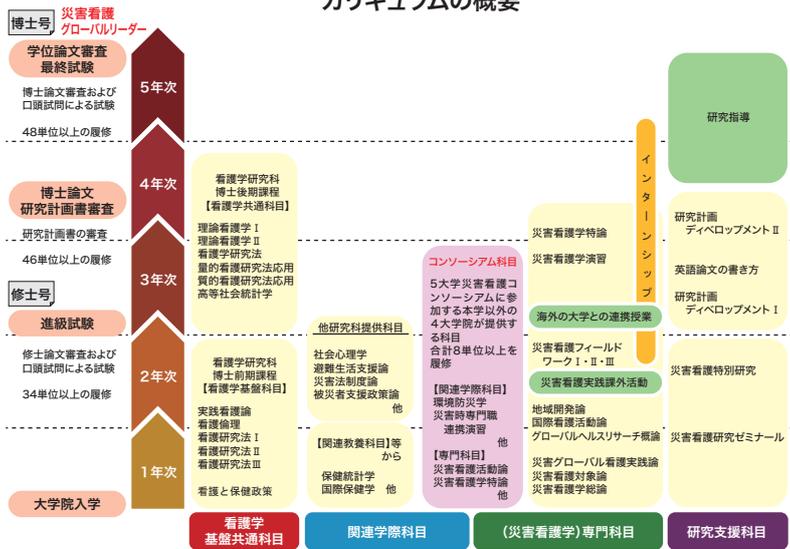
コースの紹介

2014年度より5大学（兵庫県立大学、高知県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学、日本赤十字看護大学）が共同で実施していた大学院共同災害看護学専攻・災害看護グローバルリーダー養成プログラム(DNGL、5年一貫博士課程)に替わり、2021年度からは本学独自のプログラムとして兵庫県立大学大学院看護学専攻災害看護グローバルリーダーコースがスタートしています。新たなコースは、DNGLプログラムを継承し、“グローバルな視点を備えた高度な災害看護学の専門知識を有する災害看護グローバルリーダーの養成”という使命を引き継ぎながら、学際性・国際性をさらに強化し看護学を基盤に減災復興の制度・政策へ柔軟かつ積極的に参画しリーダーシップを発揮する人材の養成を目指す5年一貫コースです。



これまで DNGL プログラムを共に実施してきた4大学とは、これからも**コンソーシアム**体制による共同を継続していきます。災害看護学を学ぶ他大学の学生や教員とは、コンソーシアム科目の履修や交流活動を通して、共に災害看護学の探究を続けていきます。加えて、本学看護学研究科の他専門領域や減災復興政策研究科の教員や学生と共に学ぶ機会や交流を増やすことで、兵庫県立大学大学院への帰属意識を高めながら、災害看護学をより多角的、重層的に理解し探究していきます。本コースは博士前期・後期課程を継続する5年一貫コースですが、2年目の終わりに実施する進級試験に合格すると修士号が授与されます。また、5年間の学修を終えた暁には、博士(看護学)の学位と共に、災害看護グローバルリーダーとして認定されます。

災害看護グローバルリーダーコース(5年一貫)カリキュラムの概要



在学生メッセージ

災害看護グローバルリーダーコース
2021年度入学

荘 秀英子



ベトナムで医療通訳に従事し、帰国後、兵庫県立大学看護学部へ入学しました。卒後は救命救急センターのICUで4年間勤務、COVID-19感染による重症患者の看護も行ってきました。私自身、阪神淡路大震災で被災し、海外に暮らす方々の健康問題も目の当たりにし、また災害ともいえるパンデミックも体験しているなかで、人々の健康と生活を支えることとは何か、カストロフィーのなかでの人間の強さを引き出すための看護を学びたいと思い、災害看護グローバルリーダーコースに入学しました。他領域の看護の先生方のみならず、災害に関連した研究科や他大学の先生方と院生たちとともに、災害に関する最新の知見を学び、看護学をより深く学んでいます。いつか、でなくいつでも起こる災害に、私たちの看護力は大きなチカラとなります。ぜひ一緒に学びましょう！

設備・環境

博士前期課程は、看護学部4階が専用フロアで、情報処理室、ゼミや講義を行う演習室、院生室などがあります。院生室は共有で使用しますが、領域をこえた学生同士の交流・情報交換ができます。

看護学部 4 階フロア



大学院 情報処理室



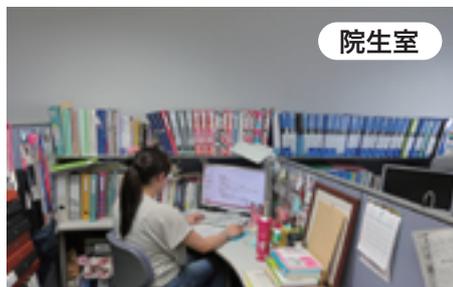
博士前期課程 院生室



博士後期課程、共同災害看護学専攻では、地域ケア開発研究所 2階に専用フロアがあります。院生室には、個別に使用できるスペースが準備されています。



地域ケア開発研究所 2 階



明石看護学術情報館は、看護学部 2 階にあります。大学院生は、医中誌・メディカルオンライン等のデータベースを学内と同様、学外からも利用できます。一部、CINAHL については申請により学外での利用が可能となります。

〈奨学金〉 本研究科では、博士前期課程（修士課程）の一部が厚生労働省の教育訓練給付制度の講座指定を受けています。受給資格等の詳細は事前に学務課にお問い合わせください。
 その他にも、日本学生支援機構奨学金など各種奨学金制度を利用することができます。入学後、学務課に相談してください。

〈入 試〉 日程：夏期募集（一般選抜・特別選抜・外国人留学生特別選抜） 8月下旬
 冬期募集（一般選抜のみ） 12月中旬

募集人員

課程名	募集人員	
	一般選抜 （夏期・冬期合わせて）	外国人留学生特別選抜 （夏期のみ）
博士前期課程 （修士課程）	25名 （看護学部生特別選抜含む）	若干名
博士後期課程	4名	若干名

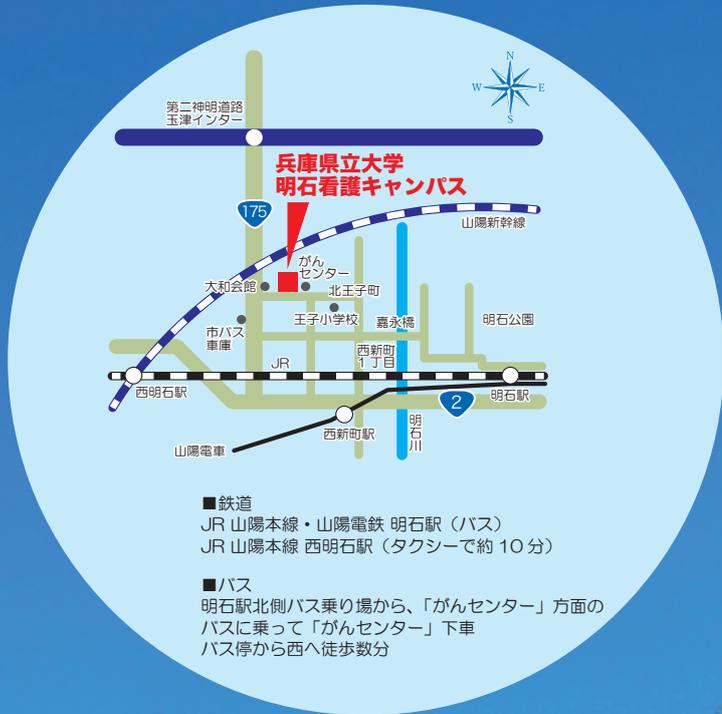
選抜方法

課程名	選抜方法	試験科目
博士前期課程	筆記試験、面接、 及び出願書類により行う	○英語 看護関連の英文の読解を含む ○専門科目 志望する専門領域を1科目受験 ○面接
博士後期課程	筆記試験、面接、 及び出願書類により行う	○英語 看護関連の英語論文の読解を含む ○専門科目 志望する専門領域を1科目受験 ○面接

※博士前期・後期5年一貫コース（災害看護学）の選抜方法は、博士前期課程に準じる。
 ※詳細は学生募集要項を参照。

〈入学料・授業料〉 入学料：県内者 282,000円 県外者 423,000円
 授業料：年間 535,800円（前期 267,900円 後期 267,900円）（2020年4月1日現在）

〈科目等履修生〉 募集人員：科目ごとに若干名
 履修科目：開講科目の中から別に指定します。履修できる単位は博士前期課程は1年で10単位、
 後期課程は4単位を限度とします。
 選考方法：受講を希望する科目毎に担当教員が書類、面談等で審査を行います。
 募集時期：前年度2月中旬頃
 入学料・授業料：
 入学料 28,200円
 授業料 1単位 14,800円（2021年4月1日現在）



兵庫県立大学大学院看護学研究科

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号

TEL : 078 -925 - 9404

URL: <https://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/>

2022年6月発行